

令和7年度 地域別市民意見交換会 意見概要報告書

地区	No.	参加者の皆さまからのご意見
一之宮地区・・・令和7年7月18日開催		
一之宮	1	今年(令和6～7)の冬は雪が多かったが、モンデウススキー場の営業が3月の第1週で終了となった。雪があるときは土日の営業もできるように臨機応変に対応していただきたい。
一之宮	2	夏場のモンデウススキー場周辺の活性化策について検討しているが、財源の問題等で対応できてこなかった。良い考えがあれば教えていただきたい。
一之宮	3	財源を確保されても、労力が充足できない。公の力を借りて位山を活性化できないか。位山は神様の山であり、日本百名山の一つとなっている。高山市の水源地として、宮川防災ダムとして位山の恩恵を受けているが、高山市民で知らない人が多い。ポテンシャルの高い地域であり、年間を通して子どもたちに来ていただくために「少年自然の家」を設置することはできないか。また、施設は災害発生時の避難所としても利用できる。
一之宮	4	現在、町内会の未加入率は1割～2割くらいである。町内会に加入しなくても不便がないことから、加入率が低下していく傾向にある。消防団の災害発生時の活動において、町内会の加入に関わらず支援しなくてはならない。市としても対応策を検討してほしい。
一之宮	5	若い人たちは意見をどこに伝えたらよいかかわからない上に、聞いてあげる人もいないのが現状である。もっと若い人の声を吸い上げて、議会で議論することが必要ではないか。
一之宮	6	若い人に高山へ帰ってくるように促しても高山に魅力がないから、帰ってこない。高校生では遅いと思う。小中学生も気軽に話せる環境を議会につくってもらいたい。
一之宮	7	スキー教室を行わない学校が増えている。昨年度「こども夢創造事業」を開催したところ当初計画の50名を大きく超える300名の申し込みがあり、100名を受け入れたが、200名が落選した。落選者には1,000円の割引券を渡してスクールへ来てくださるように案内をしたところ、50名程度の参加があった。スキーに対するニーズは多いと感じている。違う事業でも良いが継続して同様の事業をすすめることによって、スキー場の活性化やスキー離れにもつながる。
一之宮	8	飛騨市ではスキー教室の交通費、昼食、リフト代、インストラクター代を市で負担して、子どもたちのスキーを促している。高山市でも多少なりとも負担をしていただけないか。
一之宮	9	「雪マジ19」の助成制度があるが、モンデウススキー場が市の直営になったら廃止された。復活してほしい。大人料金の割引を検討してほしい。飛騨高山スキー場は小学生は無料となっている。
一之宮	10	市営になってからスキー場の人工雪の能力が経費節減のため3分の2になっている。正月に雪があるかないかでシーズンの売りに上げに大きな影響がある。前の能力に戻すことによって正月の滑走エリアが確保できる。また、前の能力で造雪すれば短い期間で人工雪が増雪することができると考える。その方が効率的であると考えているが、検討してほしい。
一之宮	11	飛騨高山スキー場とモンデウススキー場についてどのようなビジョンを持っているのか。
一之宮	12	市の直営になってから観光協会はモンデウスに関わりがなくなった。宿泊税も導入されることとなり、観光関連にも予算が充当されることとなるが、かかわりを持てる状況がないことから、宿泊税についても地域の声が反映されるようにしていただきたい。

地区	No.	参加者の皆さまからのご意見
一之宮	13	位山は神の山であり、ご利益もある。位山の水も意義があり、野菜もうまい等宣伝の後押しをしてほしい。ガイドが水無神社を案内しているが、位山まで伸ばしていただけないか。 農業と観光についてブランディングをすすめる取り組みも効果的ではないか。
新宮地区・・・令和7年8月8日開催		
新宮	1	就労継続支援A型事業所では最低賃金を支払っているが、引き上げにより経営負担が増大。就労継続支援B型事業所は工賃が平均3万4千円程度で生活保障水準と乖離があるため、市として追加的な支援や制度改善を求めたい。
新宮	2	スタッフ不足が深刻で、グループホーム職員は暴言・暴力・カスハラにより精神的負担が大きい。若手人材も不足しているため、市には職員確保・育成や労働環境改善に向けた支援を求めたい。
新宮	3	補助金や加算金の取得には作業負担が重く、利益を蓄積できず拡張や借入が困難。利用者の自己負担（6～7万円＋昼食1万円）も重いいため、補助制度の柔軟化や事務負担の軽減を市に要望する。
新宮	4	利用者・保護者の高齢化により施設需要が増加している。新設・拡張に向けた市の支援や整備体制強化を求める。
新宮	5	利用者の就労支援には送迎便（ハートネットの場合、40人対象、1日4～5便運行）が不可欠だが、運用が難しい。効率化や柔軟なサービス運用に対し、市の制度的・財政的なサポートが必要。
新宮	6	旅館などでの就労支援では家庭問題や住居確保の課題が浮上する。社協や行政が連携し、生活支援と就労支援を一体で支える体制を求める。
新宮	7	市の空き家対策や地域活性化策と連動し、障がい者や高齢者の居住支援を積極的に行って欲しい。
上宝地区・・・令和7年8月25日開催		
上宝	1	学校運営スタッフの人数が少なく、あらゆることが人手不足。年度初めの教科書更新時などは特に大変。子どもはむしろ増えて横ばいなのに、前年度までの加配がなくなった。複式解消により、先生は1コマ中に複数教室を出入りする。教務と5・6年兼務も負担は軽くない。栃尾小は複式の学年が固定しており、2学年をA年度・B年度で分けて学習できるが、本郷小はそれができず変則的な授業とならざるを得ない。遠足なども以前は養教職員などの同行あったが、今は担任一人で引率している。職員個々のマルチタスク対応力が十分か不安に思う。法で決められた定数であり、市教委が力をつけるチャンス（子も教師も）だと言われることは理解しているが、保護者は不安視している。
上宝	2	二学期制で所見も減り、「学校の働き方改革」で誘い合って早期退勤などに努めている。有難く受け止める一方、業務完遂に思い残しもある。限られた時間で充実した学校生活を心がけている。
上宝	3	大人数での学校体験がないため、中学校で行きづらくなり、それを引きずって高校でも行きづらいといったケースがあるようだ。
上宝	4	通学について、スクールバスは北稜中との兼ね合いもあり、朝の時間が厳しい。また、コロナ以降早帰りタイムになり、授業間が5分となった。5分くらいだと逆に区切りがあってないような按配で、皆がトイレから帰ったら次のコマを始めるような感覚。別に悪いわけではないが、何かせわしい。（10分休憩もある）
上宝	5	本郷小への赴任は現在の教職員全員が3年前で、僻地赴任の性格上、次も一斉に転任となる可能性が高い。赴任時には加配分の1名が引継ぎを担ってくれたが、それも無くなり次は引継役も無く一斉交代。配置をもう少しだけ計画的に行ってもらった方が、学校運営にも子どもたちにも負担が少ないように思う。児童数から、次年度は6人配置でも良いはずだが、本当にしていただけるか心配している。
上宝	6	この地域で住み続けるには、なかなか仕事のないことに、いつか子どもたちは気付く。郷土の誇りや夢を伝えたくて努力しているが、現実論との整合付けに悩む。※自分の居住地域における地域住民の立場も含めての意見。

地区	No.	参加者の皆さまからのご意見
上宝	7	冬の通勤は、技術に多少の境目は感じるが基本的に除雪が上手でありがたい。ただ、除雪車とのすれ違いで雪の被さった側溝に落ちたことがあるが、その時に携帯の電波がつかず困った。
上宝	8	去年、本郷小学校のクーラーが一斉に壊れたが、すぐに教育委員会が直してくれた。
北地区・・・令和7年9月10日開催		
北	1	町内会の役を受けるものが少なく、高齢化もあり、空き家も多く、雪またじに困っている。何とかしてほしい。
北	2	外国人も多く、民泊もあり、漠然とした不安がある。
北	3	町内会の存続・運営が難しい。
北	4	他地区のゴミがおいてあるなど、放置ゴミの扱いに困っている。
北	5	犬のブリーダーによる夜中の騒音や衛生面に関し、市としてのガイドライン・ブリーダーのルールをつくってほしい。
北	6	災害時の避難に関し不安がある。避難計画の主体がわからないので分かりやすくしてほしい。
北	7	買い物も大変で移動スーパーは助かっている。ゴミ捨ても自分でいけない方もいて、高齢者が住みやすい形にしてほしい。
北	8	町内会に未加入の人はゴミステーションが使えないようにならないか。
北	9	違法なゴミの投棄に関し、罰則強化できないか。
北	10	一方通行の違反やゲストハウス前の路上駐車など何とかしてほしい。
北	11	4年間放置されている車があり、困っている。
清見地区・・・令和7年9月16日開催		
清見	1	昨今の災害状況をみると何があっても不思議ではないので、防災対策を強固なものにしてほしい
清見	2	高齢化が進み町内会員が減る一方である。会員が増えるような対策と少子高齢化で町内会の行事・祭礼・神社仏閣の維持管理が困難になってきている。対策を検討して欲しい。
清見	3	高齢化が進む中、田畑の管理ができていない
清見	4	工業団地を整備し企業誘致を積極的に進めて欲しい

地区	No.	参加者の皆さまからのご意見
清見	5	兼業農家は多いがメリットがない。専業農家には補助金等ある。
清見	6	公立高校のタブレット導入について、小中学校との連携はできているのか
清見	7	分収林の維持管理ができていないのでしっかり推進してほしい（災害に強い山づくり）
清見	8	農業用水路を修繕したいが予算がないので補助を希望する
清見	9	大原の神社に県指定の「藤」がある。木材で土台補強をしているが腐り危険な状況であるため対策をお願いしたい
清見	10	土地の転売が気になるので対策をお願いしたい。（荘川のように産廃問題に繋がることも心配）
清見	11	太陽光パネル等の設置により大雨による雨水処理が悪くなり、災害に繋がるのが心配である。
清見	12	猪臥山の散策道があるが、作業員の高齢化に伴い整備できない状況が心配である
清見	13	夏厩地区の交通量が増えている。絵本美術館・里人学校（プラネタリウム）・宮春が閉鎖になり寂しい。里人学校の有効活用の話があったがどうなっているのか。また、各施設の有効活用が検討できないか
清見	14	合併処理槽の維持管理の補助をお願いしたい。特に公民館に於いては地域の少子高齢化に伴い維持が大変であり、30年保証が切れることから負担が発生する。対応をお願いしたい。
清見	15	水道の水圧が低いことから、消火栓からの消火ができない場所の改善をお願いしたい。（基準放水圧力の調査含む）
清見	16	子育てしやすい環境整備をお願いしたい
清見	17	水道の漏水対策
清見	18	買い物支援の充実と、Aコープ（JA）の跡地で事業をしている店への補助ができないか
清見	19	保小中を含めた学区編成を考えて欲しい
奥飛驒温泉郷区・・・令和7年9月17日開催		
奥飛驒温泉郷	1	利用拠点整備改善計画をつくりたい。
奥飛驒温泉郷	2	上高地の駐車場に甘んじる気はない。同じ国立公園でありながら、平湯温泉が国立公園である認識がない。価値を高めていきたい。
奥飛驒温泉郷	3	バスターミナルの中に県の駐車場があるが、駐車場の一本化はできないか。歩行者優先であるべきでビジターセンターの利用者駐車場もわかりにくい。台数も含め、もう少し整理できないか。

地区	No.	参加者の皆さまからのご意見
奥飛騨温泉郷	4	補助金の窓口は高山市で、そこから環境省に行くが、高山市が旗を振るべきではないか。もっと伴走してほしい。
奥飛騨温泉郷	5	国立公園なので山のビジュアルにこだわるべきではないか。高速道路の橋げたが見えるのはどうなのか。景観も考慮してほしい。
奥飛騨温泉郷	6	駐車場ありきは嫌。航空写真をとった時にアスファルトが多いまちはどうか。ビジュアルにこだわって欲しい。
奥飛騨温泉郷	7	雇用は厳しく若い人が減っていくので外国人を雇っていくしかない。働きたくなる温泉街づくりを応援してほしい。
久々野地区・・・令和7年9月30日開催		
久々野	1	令和2年7月豪雨で土石流が発生、年々激化しているのでは。市の防災訓練について、一人ひとりの認識と官民一体となった対策が必要
久々野	2	土木事業が減ってきている。災害や除雪の出動・平時での安定した仕事の確保など、国・県市の対応は
久々野	3	産業廃棄物処分場の様に、大規模に土地を購入するケースもあり問題も発生している。地域の土地をしっかりと守れないのか
久々野	4	10月1日からの宿泊税課税について、半年間で約2億円の税収は多い。支所地域の観光投資に充当すべきではないか
久々野	5	宿泊税の用途として観光振興と地域おこし等があるが、古い町並周辺のルート、ガイド、体験メニューが市街地は弱い。久々野、あらかぎ湖の観光資源化に力を入れるべき。市街地だけでは観光が廃れるのでは。体験型メニュー増加への原資が、地域の観光協会にはほとんどない
久々野	6	ふるさと納税の活用用途が身近に感じられない。観光資源にも一部を充当してほしい
久々野	7	観光資源としてのアルコピアスキー場について。リフト解体がほぼ完了する予定だが、市の土地が残っている。若者が踏ん張って運営しているので市としても応援してほしい。ヒュッテ組合が作った浄化槽が解体予定となり公衆トイレの使用不可となる、インフラ面での支援を望む。
久々野	8	米作りについて、「令和の米騒動」も報道された。現在の水稻農業についてどのように考えているか
久々野	9	地域農家から請け負っているが限界もある。農水施設や機械の設備更新、使命感でやっている方も多い。兼業農家が大半の中、国の施策はどうか
久々野	10	農家の平均年齢が70歳？後期高齢者になった場合の集落営農の維持について、市として農協などと連携した支援策は
久々野	11	農地中間管理機構（農地バンク）について、農家への周知が進んでいないのではないかと。久々野は果樹農家にはノウハウが伝わっているが、水田や畑作にはどうか。耕作放棄地を防ぐためのPRや貸し借りの推進が重要ではないか
久々野	12	外国人の医療事情について、インバウンドが増える中で、高山赤十字病院や久美愛病院など総合的な医療体制はどうか
久々野	13	高山で小児科の開業がある。開業医の偏りがあるのではないかと。皮膚科、耳鼻科など、開業しやすい雰囲気作りを

地区	No.	参加者の皆さまからのご意見
久々野	14	民生児童委員について、久々野町は13名、高山市は500名いるが、12月の改選期に向けて成り手がいない。高齢化や町内会加入率の低下が背景にあり、ボランティアとしての活動が今後できなくなるのでは。自治体や社会福祉協議会による対策は
久々野	15	災害対策として、久々野地内一級河川で岩や石がゴロゴロして川底が上がり、バックウォーターで被災している。浚渫をしてほしい。県の土木事務所が長良川の浚渫工事を発注している例もある。県議会の方にも要望してほしい
久々野	16	18歳で飛騨特別支援学校を卒業後、生活介護や日中一時支援などの受け皿が課題。卒業後に悲観的にならず、社会と繋がって生活できるような支援を
久々野	17	人口減少は止められず、点在している地域では税収も減り、財政調整基金が枯渇する可能性がある。コンパクトシティ化の考え方はどうか
久々野	18	一般廃棄物について、三福寺のごみ焼却場の現在の状況は？久々野にも焼却場があるが、三福寺が本格稼働すれば廃止になるのか
山王地区・・・令和7年10月26日開催		
山王	1	市として、インバウンドが地元経済にどの程度貢献しているのか、調査をしているのか知りたい。
山王	2	民泊の増加でゴミ出しのルールなどが守られていない。オーナーが日本人ではないケースも多く、ルールが浸透していない。
山王	3	片野町で外部の人が民泊を始めた。現在は良心的なオーナーでトラブルはないがごみ置き場の掃除や雪かきは地元住民が負担している。ごみだけ出されることに不公平感がある。
山王	4	町がきれいなのは地域住民の努力によるものである。中心部は昼間との人口の差が激しく、夜間の防犯・防災の心配や地域活動の一環で美化運動なども行っているが、高齢化で長寿会の活動も難しくなっている。
山王	5	夜間に火災などがあった際の緊急連絡先の確保に苦慮している。個人情報などを理由に教えてもらえないことがある。
山王	6	9月の安否確認訓練で、町内会加入者の安否確認率は82%だったが、未加入者を含む全世帯では41%にとどまった。町内会未加入者（古い市営住宅居住者など）の安否を確認するすべがない。
山王	7	民生委員が把握している独居老人などの要支援者情報を個人情報などを理由に町内会と共有できない。市に働きかけても返答がないままである。
山王	8	地域に関する情報公開が不足していると感じられる場面があり、特に災害対策など重要な情報が住民に伝わっていないと感じている。
山王	9	災害時の安否確認のためにも市として町内会への加入を促進してほしい。
山王	10	市として町内会への加入を促進してほしい。会費など加入のハードルを下げる取り組みを求めたい。
山王	11	市のガイドラインで、町内会費の半額程度の負担を義務付けるなど、地域住民が受け入れやすくなるようなルールを作りたい。またガイドラインにある「地域の説明会」が実際には両隣へのあいさつ程度で済まされている実態がある。
山王	12	個人情報保護の意識の高まりから、町内で家族構成を共有しない人も増え、地域の関りが難しくなっている。何事もメリット、デメリットで判断する風潮が子どもたちにも影響しているのではないかと。

地区	No.	参加者の皆さまからのご意見
山王	13	高山に住むことの本当の意味や価値について市から市民全体へ呼びかけてほしい。
山王	14	まつりの担い手も高齢化するなど、このままでは伝統文化を守っていけないのではと危惧している。
山王	15	若者の地域活動への参加が少ないこと、また昔ながらの人間関係や風習が地域離れや結婚観にも影響を与えているのではないか。
山王	16	行政と市民が一体となって地域課題の解決に取り組む必要がある。特に市長が職員の日線で行動することや多様な意見を取り入れる事が大切である。
山王	17	市町村合併により、現在住んでいる地区とは異なる出身地区の消防団に継続して所属している。
山王	18	高山市の用水はきれいで観光客にも評価されているが、分岐のバランスが悪く水量が少ない箇所がある。また一部の側溝が古いままで修理されておらず、水が漏れている。
山王	19	水路の構造的な問題で、一部分が狭いため土砂や木の枝が詰まりやすくなっている。特に元田んぼだった場所や住宅近くの土砂詰まりがある。
山王	20	農業用水路が生活用水としても利用されており、その改修や管理が複雑化している。特に昔は田んぼへの引き込みがあった水路が、田んぼの廃止により流れが変わり、特定の場所に水が集中している。
山王	21	中学校部活動がクラブ化されているが、競技ごとに運営方針がバラバラで統一化されたアナウンスがなく、新入生や親にとって、情報がわかりにくい。市として、総合型スポーツクラブのような、統一した窓口や指針を示してほしい。
山王	22	スポーツ少年団の指導を通じて、子どもたちの人間関係や社会性について懸念を抱いている。学校教育と地域社会の連携、そして大人たちが子どもたちにどのような社会の姿を見せるかが重要である。
山王	23	飛騨市は要支援者名簿の共有やマンホールトイレ整備（国の補助）に市が積極的に取り組んでいる。高山市はスピード感がなく、国の補助も活用できていない。市議会から意見を述べ、市を動かしてほしい。
山王	24	飛騨市のように使えるマンホールトイレの整備を進めてほしい。
山王	25	市の「言えー」事業はこどもに「成功体験をさせる」というが、実際にどれだけの意見が実現し、成功体験につながるか疑問である。学校の授業などで練り上げられた意見提言を実現させる方がよいのではないか。
山王	26	まち協や町内会の行事（ラジオ体操）などで未加入者や他地域の参加者が事故に遭ったり、クレームが発生した際、役員を守るための保険がない。教育委員会にラジオ体操について尋ねたら「学校は関係ない」と言われ、町内会が責任を負う形になっている。中学生サポーターも校区外の子が参加すると保険適用外になり、高額な個別保険が必要になる。役員が安心して活動できるよう、保険の整備（例：イベント保険への補助、地区をまたぐ年間保険の創設など）を市に要望する。
山王	27	まち協で防災を呼びかけても進まないため、石浦地区で独自に「防災委員会」の設立を準備しているが、防災活動に関する市の補助金を拡充してほしい。
山王	28	地域防災計画の策定が進んでいないが、町内会役員は多忙で防災に特化するのが難しいため、別組織の立ち上げを進めている。
山王	29	市長は、観光に偏重しているのでは。市民生活に直結する水害対策や避難所改善への注力が不足しているのではないか。

地区	No.	参加者の皆さまからのご意見
山王	30	体育館（避難所）は夏には非常に暑く、行事の使用も困難である。避難所に指定されている施設には、送風機などの暑さ対策設備を配置してほしい。
山王	31	石浦公民館は市の指定避難所だが冷房がなかったため、町内会が400万円の負担をして設置した。指定避難所には冷房設備への補助制度を創設してほしい。
山王	32	避難所となっている公民館の和式トイレの改修も必要である。
山王	33	6月の豪雨災害で冠水し、JR高山線も運休したが、頻繁に冠水するため、既に市からも要望（9/25）を出してもらっているが、41号バイパス計画と合わせて改修を進めてほしい。
山王	34	宮川は6/23の大雨でかなり増水した。上流の改修の影響で下流（弥生橋付近など）に土砂が堆積、撤去が必要。増水時に宮川の水が三町用水に逆流する問題も発生している。
山王	35	宮川の昭和橋から和合橋の間が旧態依然とした状況で、河川改修が必要とされている区間である。この区間では、護岸の基礎部分よりも川底が低くなっている箇所もあり、増水時には危険になる可能性がある。
山王	36	宮川クリーン作戦を関連する25町内で年4回の清掃活動（草刈り）などを行っている。高齢化が進み、安全面に配慮しながらシルバーセンターも活用しながら行っている。
山王	37	市議会として、学校教育に対し、助け合いの重要性など心の部分について意見を述べる機会はあるのか。
山王	38	過去にゴルフ場（ナインゴルフ）だった場所が太陽光パネル設置のために整地された結果、上流からの土砂が流れ込みやすくなり、水害につながる可能性がある。
山王	39	「心の清流」宮川という共通の認識を持ち、助け合い、協力し合う意識を醸成することが重要である。利己的な考え方ではなく、地域全体で社会を支えるという意識が大切である。
高根地区・・・令和7年10月31日開催		
高根	1	熊被害の件。熊の目撃情報が多い。最近では丹生川小学校の近くに出た。福祉センターに勤めている。事務所の窓から熊を見た。市から命令があれば消防で呼びかけているが、夜は消防隊員も危ない。対策をたててもらいたい。支所の方が夕方になるとパトロールしてくれてすごく心強かった。高根にも猟師はいるが、高齢化している。その猟師さんたちが畏をかけて守ってくれる。ガソリン代も高いので、パトロールしてくれている猟師さんたちに補助金を出していただくとありがたい。高根在住ではないが熊と4回遭遇している。車を運転していて熊とぶつかったこともある。泣く泣く修理代を支払った。
高根	2	町内会の意見として空き家問題がある。空き家が古くなって倒壊するとか台風などの時に、周りの家に瓦礫が飛んで被害が出ることもある。空き家対策について教えていただきたい。うちの近くにもあるが所有者がわかかっていても市役所へ行ってもなかなか動いてもらえない。若い人は新しい家を建てるのではなく空き家をリノベーションして空き家を活用してもらえばいい。
高根	3	岐阜県御岳山国定公園指定推進協議会へ意見書を提出している。公園事業の位置づけが×になっている。チャオ御岳スキー場の各施設は老朽化し、廃屋となり放置されている。ゴンドラとかガラスが割れたり壁が剥がれたり見るに忍びない状況になっている。環境省なり国のほうへ市議会として働きかけて頂きたい。
高根	4	10月の中旬ぐらいに高山市のサービス公社の方からデイサービスセンターも来年の4月から週2回になるという話が出た。今は月、木、金の利用が来年の4月から火、金の週2回になると聞いている。受け皿不足で「もうこの地域には住めない」と転出する人もいる。インバウンドも大事だが地元の人の生活も大事。

地区	No.	参加者の皆さまからのご意見
高根	5	買い物支援の話。今セブンイレブンが週2回来ている。軽トラックを改造して荷物の積み込みの量も知れている。回る順番を逆にしたりいろいろ試してもらっているが最後のほうになると物がほとんどない。とくし丸が週1回、これはこの支所の1か所だけに1時間ほど来て帰るだけなので今時間短縮されている。とくし丸は近所の人が利用するが市からの助成金もいただいている。非常に助かっている
高根	6	たかね号で週2回久々野まで買い物支援で行って帰ってくる。地区を変えて週2回地区の途中には週1回行っているが前々からお願いして久々野まで行ってそこからタクシーに乗り換えてゲンキーで買い物してまたタクシーに乗って本部に乗り換えてくるっていう、高齢者にとっては不便な大変な移動だがそれでもできれば直に行ける方法があればありがたい。いろいろなからみがあってなかなかできないということは聞いている。できる範囲でやっていただきたい。
高根	7	たかねテラスは平屋でエアコンがあってすごしやすい。炊事場があれば良い。災害があった時にここに人が集まったりした時に何もできない。広間がないし、ステージもない。文化祭とか敬老会の時にステージがあればいいなと思う。
高根	8	宿泊税について。
高根	9	道路の件。路肩の樹木が繁茂し見通しが悪い。観光バスや大型バスが通ると見通しも悪く危険だと感じる。長野県は5メートル間隔くらいで道をきれいにしている。枝を切ってもらってもすぐ伸びる。
高根	10	プロモーション動画の作成について。
高根	11	子ノ原高原について。キャンプ場から無印良品が撤退（閉鎖）した。
高根	12	のくとい館について。利用する人は今年度12月から始まる。5名は決まっている。利用者はみんな喜んでいる。交流の場としていい。高根の人半分、他地区の人半分。高根のまち協さんから補助してもらっている。不足分は社会福祉協議会が出している？高山市がもう少し応援してもいいんじゃないか。老朽化しており修繕箇所もいっぱいある。他の場所に移転はできないか。
西地区・・・令和7年11月11日開催		
西	1	「広報たかやま」「ハザードマップ」の配布が新聞折り込みが主で、新聞を取っていない人は市役所に取りに来いと言うのはおかしいのではないかと。全戸配布をするべきと思う。
西	2	民泊経営者への連絡方法等、市の具体案を示してほしい。
西	3	民泊経営者への指導をどのようにしたのかを市は町内会長にもわかるように説明してほしい。
西	4	祭りの人員不足をアルバイトでまかなうのも限界にきている。屋台を出すことも困難になる町内が必ず出てくる。祭りのノウハウを知っている人が減らない対策を考えてもらえないか。
西	5	熊が北山に出没し身近に恐怖を感じる。近年観光客も自然体験をする等ニーズが多様化しているので危険ではないか。市民の不安を払拭してほしい。市の今後の見通しや考え方は。
西	6	高山市には猟友会はあるのか。
西	7	飛騨市でドローンを使った熊対策を始めたと聞く。高山市もドローンで熊の餌を山奥にまいて山へ帰すことはできないか。

地区	No.	参加者の皆さまからのご意見
西	8	児童生徒数の少ない荘川地区に大規模な義務教育学校を作り、市の中心部の児童数の少ない学校への配慮が足りなく不公平を感じる。
西	9	過去に校区の見直しは何度か行われた。今後もあるのではないかな。
西	10	本町3丁目商店街は年々域外の所有者が増えたり飲み屋の飲食店街が隣接しているため最近深夜の騒音等の問題が生じている。観光を進めれば進めるほど地元の方が引越していき、そのうち本来の商店街の姿を失うのではないかな。
西	11	域外から人は増えても祭りにも協力しない。民泊と夜の店ばかりになることを危惧している。
西	12	駅西地区複合多機能施設においてイオンや映画館の進出に議員が反対していると聞いているがなぜか。
大八地区・・・令和7年11月11日開催		
大八	1	被災時の避難場所となる公民館の耐震化に対する補助制度について 公民館の中には昭和56年以前の木造建築があり、一時避難所に指定されてはいるが、耐震補強・設計・工事への補助がなく自己資金のみでは対応が困難である。 他自治体では上限500万～750万円規模（1/2）の補助がある自治体もあり、高山市でも防災の観点から制度強化を検討してほしい。
大八	2	一般住宅の耐震化補助制度の上限額について 現在、一般住宅については耐震診断は無料で受けられ、耐震補強についても補助制度があるが、補助上限額が180万円であるため、実際に補強工事まで踏み切れるケースが少ない。現在の補助制度では現実的に耐震化が進まないため、制度のあり方を見直してほしい。
大八	3	地域医療の将来像と市の責任について 日赤病院・久美愛病院ともに老朽化や看護師不足、医療機器の老朽化が進み、重症患者はドクターヘリ搬送が常態化している。 市としてどのレベルの医療を市民に提供していくのか明確な方向性を示してほしい。
大八	4	文化と観光の両立と文化条例について インバウンドの増加によりマナー問題や文化のすり減りが起きている。文化と観光のバランスをどう取るのか、文化を守る仕組みを検討してほしい。
大八	5	空き家の再生と活用方針について 本町界限を中心に空き家が急増しており、老朽化して潰れる前に若い人の商い・事業利用などにつなげる活用方針を示してほしい。
大八	6	民泊の騒音・治安問題と空き家活用の安全性について 民泊が非常に問題視されており、騒音がうるさい、ゴミの処理ができないなどの生活環境上の問題が現状で発生している。 さらに、犯罪組織が住み着くのではないかなという治安面での懸念もあり、市民が不安を感じている。 空き家活用にあたっては、すべてを民泊とするのではなく、より安全性の高い活用を検討してほしい。
大八	7	町内会未加入者の安否確認と情報伝達について 町内会加入率が低下する中、災害時の安否確認や情報伝達がどうなるのか不安であり、町内会未加入者をどう把握し守るのかの仕組みを構築してほしい。 結ネットもあるが、高齢者には運用が難しく、防災ラジオも難聴者には利用されないなど課題が多い。

地区	No.	参加者の皆さまからのご意見
大八	8	心理職の活用と子どもの心のケアについて スクールカウンセラーなど心理専門職の活用について、子どもの心のケアをより体系的に行う体制を高山市でも整備してほしい。
大八	9	福祉避難所の実効性と地域周知体制について 一般の指定避難所では、高齢者や障がいのある方、持病のある方などの要配慮者が実際には安心して避難できない現実がある。 「福祉避難所」という制度はあるものの、どこにあり、誰が対象で、どのように行き、誰が運営するのかといったことが地域にほとんど周知されておらず、実際の災害時に本当に機能するのか不安がある。
大八	10	指定避難所のバリアフリー化について 現在の指定避難所の多くは体育館であり、段差やトイレ、動線などの面で、高齢者や障がいのある方、子ども連れの方にとって非常に使いにくい構造になっている。 指定避難所のバリアフリー化を進め、誰もが実際に利用できる避難所にしてほしい。
大八	11	観光客を含めた防災体制の構築について 高山市は観光都市であり、災害時には市民だけでなく多くの観光客が同時に被災する。 観光客は土地勘がなく、どこへ避難すればよいか分からない状況になりやすいが、現在の町内会や自主防災組織の想定は基本的に住民を前提としており、観光客への対応が想定されていない。災害時に観光客をどのように誘導し、どこへ避難させ、どう守るのかという体制を、観光都市として明確に構築してほしい。
大八	12	砂防・治水施設の機能低下対策について 町内の砂防施設の効きが悪くなっており、昨年・今年と大雨のたびに同じ箇所です砂流出が繰り返されている。 国・県の砂防事業で整備された施設についても、整備後の維持管理や再整備が十分でなく、同一箇所です被害が再発している。 危険箇所について国・県と連携して本格的な対策に取り組んでほしい。
丹生川地区・・・令和7年11月11日開催		
丹生川	1	熊の対策は進んでいるのか。熊の生態に詳しい専門家の意見を聞く必要があるのでは。例年よりも多く熊を捕獲しているはずだが、出没情報は出るが、捕獲情報は出していない。また、丹生川の河川沿いで植林が管理されていない区域がベルト状にあるが、予算をつけて整理をすると熊の移動も少なくなるのでは。
丹生川	2	地域は高齢化しており、草刈りがなかなか難しい。この地域の景観を楽しみにしている観光客も多いと思うので、宿泊税の用途に草刈りなどを検討していただきたい。
丹生川	3	消防団員に草刈りをしていただくのはどうか。
丹生川	4	今年のような猛暑だと草が伸びるのも早い。民家のない区間は各町内ではカバーし切れないので、事業者の定期的な草刈りの機会を増やしてほしい。
丹生川	5	最近、街中の観光バスのマナーの悪さが目立つ。外国人のドライバーも多い印象がある。
丹生川	6	川に流木が放置されている。観光や景観視点でも重要だと考えるので、道から目につく部分だけでも綺麗にしていきたい。
丹生川	7	中部縦貫自動車道の工事の進捗は。
丹生川	8	バスの運賃について、丹生川を通る新穂高線は高額である。町方から高山駅まで片道450円となる。他地域と比べると、公共交通の建前の中では格差がありすぎる。平準化を議会でも真剣に考えて欲しい。

地区	No.	参加者の皆さまからのご意見
丹生川	9	旧丹生川東小学校の区域に住んでおり、AEDを補助金を活用していくつかの地区に配置したが、まだ未配置の地区の方が多い。AED配置に活用できる補助制度を復活してほしい。
丹生川	10	荒城地区に住んでおり、子どもがスクールバスを利用して通学するが、草が道路まで伸びており、スクールバスが道路の真ん中を走らなければならない状況で危険である。地区でも高齢化が進んでおり、道路が長すぎるため地域では対応できない。子どもたちの安全のためにも、市道のこまめな維持管理を検討いただきたい。
丹生川	11	「山口谷川」は県と契約して草刈りをしているが、市とは契約がない。勤め人ばかりで暇な人がいない時代。市の所有地の管理についても委託契約などを考えていただきたい。
丹生川	12	砂防ダムが土砂でいっぱいになっており不安。町内で要望を出したらいいのか。
丹生川	13	大萱地区から荒城地区にかけて、市の土地にアスファルト舗装された退避場があるが、かなりの量のゴミが放置されている。毎年のクリーン作戦でも軽トラいっぱいのゴミが集まる。使用を禁止するなど、なにかしらの対策をしてほしい。
丹生川	14	新張の一番下の県道は、草刈りもされず、多数のゴミが山中に放置されている。事故の多発地帯でもあり不安である。
丹生川	15	旧根方の公民館（株式会社ワタセの前）が、夏場は草が生い茂って非常に見通しが悪い。市の土地ならしっかりと管理をしていただきたい。
丹生川	16	丹生川町新張の指定木の状態が非常に悪い。
丹生川	17	岐阜県の「ぎふ・ロード・プレーヤー」制度では、地域住民や企業がボランティアで県道沿いの清掃や草刈りなどの作業を行う際に、県が消耗品の支給や保険への加入支援をしている。市道でも適用できるように県へ要望するか、市独自で取り組めないか検討していただきたい。
丹生川	18	山林などの土地の売買は市で把握しているのか。他の地域、とくに海外から入ってきた方は管理方法など分かっていない。トラブル防止に対する市の取り組みは。
丹生川	19	町方のコミュニティセンターの耐震化がされていない。公民館等の耐震化に対する補助金の考え方は。
丹生川	20	町方の自主防災計画において、丹生川支所の2階は一時避難所に使えないのか。
江名子地区・・・令和7年11月14日開催		
江名子	1	江名子小学校から保育園に至る通学路約100mの間が狭小で交互通行ができないため渋滞するので安全確保のため拡幅・歩道設置を要望
江名子	2	今年の6月23日の大雨で江名子川が増水し丸山橋など冠水した。通学路になっているので整備を進めてほしい。
江名子	3	県道462号のデイリーヤマザキ江名子店から山口町側は歩道の付いた高規格の道路であるが、千島・松之木線までの間も安全確保のため早急に高規格道路を延伸してほしい。
江名子	4	江名子小学校体育館が市指定の避難所になっているので冷暖房施設等の検討をしてほしい。
江名子	5	江名子小学校と保育園の裏山が昨今の異常気象では土砂崩れ等心配なので調査をして科学的知見のもと、時間雨量何ミリで避難とか指針が出来ないか要望する。

地区	No.	参加者の皆さまからのご意見
江名子	6	高山市も人口減少が止まらず少子高齢化が進んでいる。簡単にできる問題でないが子や孫の世代に向けた人口増の対策をしてほしい。
江名子	7	今は熊の被害はないが、上宝の方で1件あった。昔のように猟師もいないし増えて来ていると思う。里に下りてくる前に個体数を少しでも減らすようにしてほしい。
江名子	8	厚生病院跡地の有効利用をお願いしたい。
江名子	9	開業医の高齢化による医療空白への危機感があるが、行政の前向きな施策や、地域医療の現状や市の医療行政の方向性など積極的な発信を要望する。
江名子	10	結ネットは市が費用の3/4を出して、残り1/4はまち協で出している。正直言って市が防災用に使おうと思えば、市民の皆さん誰でも平等に情報が流れるようにしなきゃならんと思うので、残りの1/4を市が出し全額市の負担にすれば江名子校区に住んでいる人みんなに奨めて情報も流せる。
江名子	11	空き家に外国人が居住・購入する事例が増えており、町内会にも加入せず、生活習慣や言語の違いから不安を感じる場面が多くなっている。特に高齢化が進む地域では、空き家が増えることで同様の事例が連続するのではないかという懸念がある。不動産取引や地域ルールについて、市として何らかの対応や働きかけができないか。
岩滝地区・・・令和7年11月17日開催		
岩滝	1	岩滝地域は防災に力を入れている。体育館を災害時の避難所に利用したい。
岩滝	2	拠点集積所が岩滝小学校だったが東小学校までは利用しづらいので、公民館の敷地利用はできないか
岩滝	3	森林環境税を使って人手不足で出来ない山の手入れをすることはできないか
岩滝	4	農業用の用水排水の維持管理が人手不足でできなくなっている。行政で予算を立て業者に依頼するなど支援をお願いしたい。以前は多面的機能補助金とかあったと思う。書類作成なども大変だったが100万円位の多額の補助金が出ていたと思うが復元してほしい。U字溝の現物支給もあったと思うけれど、人手不足で現実厳しい。
岩滝	5	猪がきて被害が出ている。しかしハンターが少なくなってきた問題を抱えている。
岩滝	6	土日のバスが出ていなくて困っている。今は子供の部活も学校でやらないので中山公園競技場までの送迎が必要になってる。やりたい競技をやめる子もいる。
岩滝	7	高齢者の介護の支援にも取り組んでほしい。スクールバスの空き時間に利用はできないか。
岩滝	8	高山スキー場についてはどうなっているか。観光課か教育委員会で進めてほしい。
岩滝	9	高山に映画館とかイオンが欲しい
岩滝	10	公民館が古くなっているので建て替えが必要だと思う。岩滝小学校への移転はできないか

地区	No.	参加者の皆さまからのご意見
岩滝	11	小学校がない地域の活性化をどう考えているか。
岩滝	12	総合防災訓練に出させてもらった。防災訓練は大変大切なことだと思うので今後も続けてほしい。
岩滝	13	生徒が多い学校と少ない学校とのバランスを考える必要があるのではないか。
三枝地区・・・令和7年11月18日開催		
三枝	1	熊が頻繁に出没しているが、対策は十分なのか。
三枝	2	道路の街灯がまだLED化されていなく、夜道が暗い地域がある。
三枝	3	三枝地区にはスーパーがない。移動販売車が来ているが、なかなか買い物に不便である。
三枝	4	町内の高齢化や若手の減少もあり、草刈りがとても大変かつ危険である。いつまでも続けられない。
三枝	5	山道でもないのに対向車がハイビームを維持したまま、交差点に入ってくることが多い。運転していて危険を感じるが増えた。
三枝	6	高山市の「道路・河川ライブカメラ」は熊野橋には設置されていない。6月の豪雨災害の際など、水位を確認するには実際の川を見に行くしかない状況である。20年前には夜中に川の様子を見に行き行方不明になった方もいた。
三枝	7	高山市民プールの利用者が多いが、警備員が配置されて交通整理をしている。道が狭く危険であり、奥の公園に行くのも大変。どちらか一方通行にはできないのか？
三枝	8	まちづくり協議会が活発な一方、各委員会の負担も大きい。市全体でまち協のあり方や組織体制を考えなくてはならないのでは。
三枝	9	まちづくり協議会で地域の修繕要望に対応する予算が足りない。物価高騰なども加味してほしい。
三枝	10	市の町内会連合会では、日赤や社協、護国神社の寄付金を集めるのを各町内会の任意とされたがそれで良いのか。
三枝	11	学校、保護者、地域の連携も取れておらず、子育てや教育に対してどんな事業が行われているのか分からない。
三枝	12	まち協の予算も単年度制では、地域に根差した中長期的な事業が難しい。地域の最適な事業を行うためには、もっと柔軟な予算配分や事業計画をまち協が主導できる形が望ましいのでは。
三枝	13	市営住宅前のグレーチングの網目に杖が引っかかり高齢者が大変である。安全性が高くて、重量も軽いグレーチングを使用してほしい。
三枝	14	屋根の雪下ろしは高齢者にとって大変負担である。なんとか市で担っていただけないか。

地区	No.	参加者の皆さまからのご意見
朝日地区・・・令和7年11月18日開催		
朝日	1	意見交換会の開催方法の改善について 参加者数や発言のしやすさを考えると、議員と住民が分かれて話ができる小グループ形式を取り入れた方が、より多様で率直な意見が出やすくなる。来年度以降は開催方法の工夫を検討してほしい。
朝日	2	支所地域への移住促進と優遇制度について 支所地域は生活の利便性の面で市街地より不利な点が多く、移住を促進するためには制度面での後押しが不可欠である。特に水道引き込みなどの初期費用が高額になることが移住の障壁となっているため、市内共通基準ではなく、支所地域に配慮した負担軽減や優遇措置を条例や制度として整備してほしい。
朝日	3	子ども主体の地域づくり・義務教育学校構想について 子どもたちが地域活動や行事に主体的に関わる取組や、義務教育学校構想など、地域と学校が連携して人づくりを進めてきた朝日地域の取組は評価できる。こうした特色ある実践について、単発で終わらせることなく、今後も継続し、さらに発展させてほしい。
朝日	4	義務教育学校開校における地域意見の反映プロセスについて 荘川地区で義務教育学校が開校するにあたり、外から見ていると、制度や方針が先に決まり、地域の声の後追いになっていないかという印象を受ける。今後、朝日地区でも義務教育学校の議論が進む可能性がある中で、同じように地域の声十分に反映されないまま物事が進んでしまうのではないかという不安がある。計画を進める際には、早い段階から地域の意見を丁寧に聞き、納得感を持って進めてほしい。
朝日	5	義務教育学校における通学支援（スクールバス）について 朝日地区では児童数が急減しており、義務教育学校の開校後の規模が不安である。特色づくりにより他地域からも通ってもらう方向性が語られている一方、実際にスクールバスを運行するのか、地域外からも通いやすい仕組みが用意されるのかが見えない。通学の現実性を踏まえた支援（バス運行等）を検討してほしい。
朝日	6	給食無償化と給食の質の維持・改善について 国が給食無償化を検討しているとの報道があるが、無償化によって給食の質が下がることがあっては本末転倒である。現在の高山市の給食の良さを維持し、できれば質を高める方向で、学校給食を今後も地域の魅力として打ち出してほしい。
朝日	7	地域おこし協力隊・人材活用による地域活性化について 地域おこし協力隊や若い専門人材の力を活用し、地域の資源や拠点を生かした体験プログラムや交流の場を充実させることで、地域の魅力発信や人の流れの創出につなげてほしい。短期的なイベントにとどまらず、継続的な関係人口の創出を意識した取組を期待する。
朝日	8	福祉・高齢者支援ネットワークの見える化について 移動販売や介護支援の現場では、高齢者の生活支援や金銭管理などの課題が顕在化しているが、福祉関係事業者や地域包括支援センター、支援員同士の横のつながりが見えにくく、相談先が分かりづらい。支援が必要な人に適切につながるよう、連携体制を見える化し、分かりやすい仕組みを整えてほしい。
朝日	9	支所・まち協の対応体制と「検討中」の見える化について まち協や支所、議会との意見交換会にて要望/意見を出しても、その後の対応状況が『検討中』のまま分からないケースがあり、住民として不安や不満を感じることもある。どの段階で、どのように検討され、結果がどうなったのかを住民が把握できるよう、進捗や結果を見える形で説明する仕組みを整えてほしい。

地区	No.	参加者の皆さまからのご意見
朝日	10	<p>小規模農家が営農を継続するための支援のあり方について 朝日地区には、小規模で農業を続けている農家が多く存在しているが、現在の補助制度や支援策は、ある程度規模の大きい農家を前提としたものが多く、小規模農家にとっては使いづらいと感じている。 高齢化や後継者不足が進む中で、機械の更新や農地の維持を個々の農家だけで続けていくのは難しくなっている。 小規模農家は、収益だけでなく、農地や景観の維持、集落を守る役割も担っており、大規模化だけを前提とするのではなく、小規模でも農業を続けられるような支援の考え方を示してほしい。</p>
朝日	11	<p>産業廃棄物処理施設等に関する不安と行政・議会の関与のあり方について 産業廃棄物処理施設をめぐって水源や生活環境への影響が問題になっている事例がある。 同様の施設が将来的に計画された場合、地域としてどのように情報を把握し、どの段階で関与できるのかが分かりにくく、不安を感じている。 問題が表に出てから対応するのではなく、環境や暮らしに影響する可能性のある案件について、行政や議会がどのような立場で地域の声を受け止め、関わっていくのかを明確にしてほしい。</p>
<p>荘川地区・・・令和7年11月25日開催</p>		
荘川	1	<p>荘川さくら学園は特例校として英語教育に力を入れている。そこで海外研修（留学）が話題に上がっており、その受け皿としてまち協が想定されている。生徒が実際の英語に触れる体験ができるよう、具体的な実現に向けたヒントや協力を。</p>
荘川	2	<p>荘川さくら学園は来年度から特認校として市内全域からの入学が可能となり、オープンスクールには14組の参加希望がある。一方で、通学手段が課題となっているため、スクールバスの整備など具体的な対策を行えば、入学希望者の増加が期待できる。</p>
荘川	3	<p>荘川さくら学園のふるさとルーム（交流スペース）は携帯電話が繋がりにくくWi-Fi環境もない。利用する市民や待機する保護者の利便性を考え改善を。</p>
荘川	4	<p>六厩地区の産廃計画は、庄川の最上流、水源地ということで問題になっているが、今後市内の他の地域でも起こりうる可能性がある。そのためにも、市全域を対象とし、業者の侵入を許さず、特に水源地には産廃施設を建設させない強力な条例の制定を強く要望する。</p>
荘川	5	<p>荘川町の産廃対策委員会は、少数で活動しているが力不足を実感している。市長の反対表明を受け高山市全体の問題として取り組んでいただき、周辺の市町村も巻き込んでお願いしたい。</p>
荘川	6	<p>高山市は合併をして日本一広い市になったのに高山市民憲章が「乗鞍の・・・」で始まることに違和感を感じている。編入合併して20年が経過したこともあり、憲章に白山や産廃問題など地域のことを反映してほしい。</p>
荘川	7	<p>産廃事業計画などの大規模事業計画に関連する土地売買は事前に市の承諾を必要とする仕組みが必要ではないか。</p>
荘川	8	<p>荘川地域には多くの別荘地がありますが、管理されず朽ち果てていく別荘が数多く見られます。こうした建物について所有者が最後まで責任を持つよう行政で対策を検討してほしい。</p>
荘川	9	<p>近隣の空き家が朽ち果てて危険な状態です。所有者に解体を依頼しましたが、本人が亡くなっており、その配偶者と子供たちも数百万係る解体費用を理由に実施できない状況です。</p>
荘川	10	<p>荘川さくら学園『さくらのこみち』について（書面による意見） 今春、地域教育の要である新たな学び舎を開校頂きました皆様の格別なるご理解とご協力に感謝申し上げます。 学園と庄川沿の市有地に小道を作り学園生と荘川桜の苗木を植え「さくらのこみち」とする社会貢献活動の提案（別紙概略図）です。 多岐に及ぶ利活用が有ると思われますのでご検討ください。</p>

地区	No.	参加者の皆さまからのご意見
荘川	11	『荘川桜樹齢千年未来公園』の環境整備について（書面による意見） 奇跡の移植から65年、推定樹齢500年の荘川桜の公園環境は国道と湖に挟まれた人工物で固められ山腹土砂の造成地は根系と枝葉の相関関係が完全に壊れ劣悪です。国道を移設（トンネル等）し桜園全体を広め森林土壌に置き換え往時は境内で100メートルも伸びていた強い根張りで繁茂化できる自然豊かな「荘川桜樹齢千年未来公園」の環境整備を市、県、国へ要望します。
荘川	12	荘川高原スキー場閉鎖について（書面による意見） 高山市役所は荘川高原カントリー倶楽部の法人無記名会員（回数2）であります。スキー場閉鎖の反対活動は別紙のとおりで299名の皆様から反対署名を賜りました。ゴルフ場とスキー場の併設誘致は、過疎に対する先人の知恵で現在に至ります。高山市は冬の産業が失われるのを黙認対応で無策としか思えません。荘川町の半年間に及ぶ冬期産業の振興施策をご教示下さい。
東地区・・・令和7年12月4日開催		
東	1	堀端町の三の丸堀周りの桜が10本程朽ちている。危険（枝が遊歩道に落下するなど、歩行者の安全が懸念される）なので伐採してほしい。景観からも新しく植樹（桜と紅葉）して、防草シートも敷いてほしい。 （文章発言でも同様の意見が出された）
東	2	この地域には公民館はなく世間話、ゲーム、麻雀等、誰でもいつでも集える居場所を作りたいと、元気なお年寄りの方の希望がある。どこかを借りる必要があるため、運営費（維持費）等の補助金を検討できないものか。
東	3	江名子川にかかる橋の一つに、桔梗橋下流にある小さな無認可橋で、もともと近隣住民が生活のために設置したものが、橋脚等がぐらつき危険な状態となり現在は完全通行止めになっているものがある。手すりも倒れかけていて放置は危険であるが、市・県とも住民が作った経緯などから扱いに迷っていると思われる。現状放置は許されないため、行政による位置づけと安全対策（修繕・撤去等）の検討をお願いしたい。 当該地区は伝統的建造物群保存地区で、この橋もその一つとして景観上の位置づけとして検討されたい。
東	4	東山遊歩道等案内表示が分かりづらく、特に安川側からの外国人観光客が道に迷いやすい状況がある。現状、民家裏や墓地に迷い込むケースは多くないが、今後の観光客増加を考えると懸念がある。 熊の出没エリアと重なる箇所もあり、注意喚起等十分な対応をしてほしい。
東	5	昨年度の意見交換会後のフィードバックがされていない。しっかりやってほしい。
東	6	経済対策として、プレミアム商品券をやってほしい。 市に提案しているが、返事をもらえていない。
東	7	火葬場から下りてきた宗猷寺町では、火葬場関連道路のインフラ整備として、融雪設備をお願いし協定書を交わしている。住民の3分の1が出た説明会の際に、火葬場から下って北側で国道側に行く道の整備はR8～R9にかけて行い、道を下りてきて南側で江名子公園に行く道は、R12に整備すると説明された。いずれも少しでも早く整備して欲しいので、南側の整備をもっと早めに取り掛かってほしい。R12は、火葬場供用と同時期に南側の工事になると工事渋滞・生活影響が大きいので、計画の見直しを検討してもらいたい。
東	8	新火葬場の工事で影響を受けるのは、宗猷寺町や天性寺町だけではない。自分たち吹屋町や他の町内も生活圏として影響を受ける。「自分たちは説明を聞いていない」「広報をみるしかない」といった不満も出されている。説明地域と方法が不十分であると考ええる。また、説明会に参加する人もごく一部であった。

地区	No.	参加者の皆さまからのご意見
東	9	<p>伝統的建造物群保存地区の説明会の対象を増やしてほしい。現状、「伝建＝家屋のみ」という印象が強く、橋や側溝など生活インフラの老朽化が放置されている箇所がある。また壊れたまま1年以上放置されている箇所もあり、建物だけでなく環境整備・沿道景観・インフラをセットで進めないと住民の理解が得られない。「空町」という地域として文化・伝統を守るなら、地域全体を対象にした方がよい。範囲に入っていない地区が多く、同じ町内でも指定の有無が分かれることへの違和感・不公平感が表明されている。</p>
東	10	<p>宿泊税の用途について、高山市（維持課）への「情報提供」による市道や側溝などの高山市管轄のインフラ整備を、空町まち協では現在年間300万円分しか予算がついていない。（6年ほど前は1千万円）側溝の修理をするには、3～4年かかってしまう。また他の要望案件は後回しになるなど、300万円の予算で土木関連工事を行うことは非常に厳しい状況。特に空町地区はインフラ的な部分がどこも古く、修理、改修が必要である。そこで空町の観光ルート整備や伝建地区申請に向けた取り組みを踏まえ、宿泊税の活用を検討してほしい。</p>